

一般社団法人日本アレルギー学会
2023年度 事業報告書
(2023年8月1日から2024年7月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

2023年7月31日現在	1 2, 5 9 2名
2024年7月31日現在	1 2, 7 5 7名
増減数	1 6 5名 (増)

内訳	新入会員	5 4 2名
	除退会員	3 5 7名
	物故会員	2 0名

役員（理事・監事）、代議員			
2023年7月31日現在	理事 2 6名	監事 2名	代議員 3 8 5名
2024年7月31日現在	理事 2 6名	監事 2名	代議員 3 8 4名
増減数	0名	0名	1名 (減)

2) 名誉会員	2023年7月31日現在	3 5名
	2024年7月31日現在	3 5名
	増減数	0名

3) 贊助会員	2023年7月31日現在	2 3社
	2024年7月31日現在	2 3社
	増減数	0社

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催（定款 第5条 第1号）

1) 第72回学会学術大会

会期：2023年10月20日（金）～10月22日（日）

会場：東京国際フォーラム

開催方法：ハイブリッド開催

現地開催、Live配信 … 10月20日（金）～10月22日（日）

オンデマンド配信 … 11月15日（水）～12月15日（金）

参加登録者数：6,332名

（会期中来場者数 医師・一般：2,421名、メディカルパートナー：154名、前期研修医/学生/患者会：106名）

特別プログラム：合計 221演題（招請講演 20、特別講演 2、会長講演 1、教育講演 21、シンポジウム 96、JSA-JSI 3、JSA-EAACI 3、JSA-DGAKI 3、JSA WAO 3、喘息学会合同企画 3、特別企画 4、働き方改革スイーツセミナー 4、教育セミナー 43、イブニングシンポジウム 15）

一般演題：合計 469演題（日本語：Mini Symposium 283、ポスター 144）（English Session：Oral 42）

（アレルギー72巻6・7号 8月25日発行：特別プログラム・抄録、一般演題プログラム、Index、広告、Kcon-naviに収載）

2) 第10回総合アレルギー講習会

会期：2024年3月16日（土）～17日（日）…現地実施+Live配信

2024年4月18日（月）～5月7日（火）…オンライン配信

会場：パシフィコ横浜ノース

開催方法：ハイブリッド開催

参加者総数：2,843名

(内訳) 現地参加者 838名

Web参加者 2,640名 (Live配信参加者：1,074名、オンデマンド配信参加者：1,566名)

会 員 2,561名

非会員 282名

講義数：47 講座 (講義 22、教育セミナー 11、イブニングシンポジウム 4、実習 10)

4) 第6回臨床アレルギー講習会

会期：2023年9月24日 (日)

開催方法：Web開催 (ストリーミング配信)

受講者数：835名 (会員 447名、非会員 388名)

講義数：14 講座 (講義 9、実技指導 (ビデオ) 5)

5) 地方会

全国8支部 (北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄)

○第4回北海道地方会

会長：北市 伸義 (北海道医療大学病院病院長)

開催日：2023年10月15日 (日)

場所：札幌医科大学 記念ホール

○第5回東北地方会

会長：太田 伸男 (東北医科大学耳鼻咽喉科)

開催日：2023年11月25日 (土)

場所：TKPガーデンシティ仙台

○第10回関東地方会

会長：井川 健 (獨協医科大学医学部皮膚科学講座)

開催日：2023年11月25日 (土)

場所：秋葉原コンベンションホールおよびWEB (ライブ) 配信

○第11回関東地方会

会長：久田 剛志 (群馬大学大学院保健学研究科)

開催日：2024年6月1日 (土)

場所：秋葉原コンベンションホールおよびWEB (ライブ) 配信

○第5回北陸地方会

会長：藤枝 重治 (福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

開催日：2023年11月23日 (木・祝)

場所：Web開催

○第5回東海地方会

会長：川部 勤 (名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 オミックス医療科学)

開催日：2024年3月9日 (土)

場所：名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

○第10回近畿地方会

会長：寺田 哲也 (大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学准教授)

開催日：2023年11月26日 (日)

場所：大阪国際会議場

○第11回近畿地方会

会長：大磯 直毅 (近畿大学奈良病院皮膚科)

開催日：2024年7月7日 (日)

場所：大阪国際会議場

○第6回中国・四国地方会

会長：山崎 章 (鳥取大学医学部附属病院呼吸器内科・膠原病内科)

開催日： 2024年3月2日（土）

場 所： 松江テルサおよびWEB（ライブ）配信

○第6回九州・沖縄地方会

会 長： 本村 知華子（国立病院機構福岡病院小児科）

開催日： 2024年2月17日（土）

場 所： 九州大学医学部百年講堂およびWEB（ライブ）配信

2. 学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第5条 第2号）

- 1) 和文誌 「アレルギー」 72巻6・7号～10号（6・7号は合併号として発行）、73巻1～5号、計9回発行

発行日 72巻6・7合併号（8/25）、72巻8～10号（9、11、12月各1日）、73巻1～5号（2、3、5、6、7月毎月1日）

発行部数 72巻6・7号（合併号）冊子 約13,000部、72巻8号～72巻10号および73巻1～5号（通常号）冊子 約12,200部、また、J-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載、および電子書籍KaLibに掲載

- 2) 英文誌 「Allergology International」 72巻4号～73巻3号 年4回発行

発行日 2023年10月、2024年1月、4月、7月 オンラインジャーナルと冊子体

発行部数 冊子体1,500部を発刊、希望者のみ配本

エルゼビアのScience Direct、およびJ-stageにオンラインジャーナル掲載

3. 専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第5条 第3号）

- 専門医数 5,161名（2024年7月31日現在）

内訳：内科 2,303名、小児科 1,868名、皮膚科 516名、耳鼻咽喉科 448名、眼科 26名

- 1) 令和6年度（2024年度）専門医の認定

申請者 283名

2023年12月7日 資格審査委員会にて書類審査 令和6年度（2024年度）申請者283名および
令和3年度（2021年度）の受験困難者1名の計284名を受験有資格者と判定

2024年4月28日 令和6年度（2024年度）専門医認定試験をCBT方式にて実施 250名を新たに専門医として認定

- 2) 2023年度 指導医の認定

申請者35名について、資格審査委員会にて随時審査 32名を新たに指導医として認定

- 3) 2023年度 教育研修施設の認定

教育研修施設への申請47科、準教育研修施設への申請21科について、資格審査委員会にて随時審査
教育研修施設47科、準教育研修施設21科を新たに認定

- 4) 令和6年度（2024年度）専門医の更新認定

申請者685名 資格判定会議にて685名の更新を認定

- 5) 令和6年度（2024年度）指導医の更新認定

申請者114名 資格判定会議にて114名の更新を認定

- 6) 令和6年度（2024年度）教育研修施設の更新認定

教育研修施設の申請78科 資格判定会議にて78科の更新を認定

準教育研修施設の申請14科 資格判定会議にて14科の更新を認定

4. 研修及び教育の実施（定款 第5条 第4号）

- （1）専門医教育セミナー

1) 第64回 e-learningによるWeb開催 配信期間：2023年9月20日～10月19日

2) 第65回 ハイブリッド開催 会場：2024年5月12日 / 配信期間：2024年5月29日～6月28日

- （2）e-learning（E-learning for Allergy Trainees）随時作成・配信

- （3）専門医制度集中研修（第17回相模原臨床アレルギーセミナー：共催）

2023年8月1日～8月31日 e-learningによるWeb開催

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第5条 第5号）

- 1) 2024年度海外研究留学助成金

学会ホームページにて公募、応募者10名について選考、4名に決定した。

- 2) 2023年度（第20回）日本アレルギー学会学術大会賞

2023年度本学会学術大会(第72回学術大会)で発表された研究業績を対象として学会誌および学会ホームページにおいて公募、学術大会賞選考委員会の審査後、理事会承認を経て応募者19名のうち5名が受賞した。

3) 2023年度臨床研究支援プログラム

学会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のため2016年から実施している。2023年度は、研究推進委員会の審査の後、理事会承認を経て新規応募19件のうち内5件が受賞した。

4) JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム 2024

2020年に開催された第69回学術大会は、世界アレルギー機構(WAO)との共催だったが、その際の余剰金をもとに「JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム」を創設した。2024年度(3回目)の募集で、選考推薦委員会の審査の後、理事会承認を経て通常枠14件の応募のうち6件が受賞し、若手研究者枠11件の応募のうち5件が受賞した。

5) サノフィ優秀論文賞

サノフィ株式会社と共同で「サノフィ優秀論文賞」を設立した。2024年度3回目の募集で、総計50件の応募があり、研究推進委員会とAllergology International編集委員会の合同審査の後、一般部門は26件、Allergology International部門は7件が受賞した。

6. 関連学術団体との連絡及び協力(定款 第5条 第6号)

1) 専門医制度関連：日本専門医機構「第1回機構認定サブスペシャルティ領域懇談会」(2023年8月29日)にWeb参加、内科学会「サブスペシャルティ領域学会協議会」(2023年9月19日)にWeb参加、日本医師会と面談(2023年10月18日)、日本専門医機構サブスペック検討委員長・副委員長とWeb面談(2023年12月5日)、日本専門医機構サブスペック検討副委員長と面談(2024年3月16日)、内科サブスペック連絡協議会会长・前会長とWeb面談(2024年4月25日)。

2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力：第72回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」(2024年2月1日～28日)を後援。

3) 内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会・遠隔医療関連委員会に委員参加。アレルギー関連委員会を開催し、2024年度(令和4年度)診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案の調整を行い、関係学会と共同で実施した。

4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。

5) 日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。

本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費(医療安全分担金)を拠出した。

7. 国際的な研究協力と交流の推進(定款 第5条 第7号)

1) World Allergy Organization(WAO)との活動

• WAO House of Delegates (2023-24)

日本アレルギー学会から4名の代表を登録(国際交流委員会委員長、副委員長、委員2名)

• WAO Board of Directors

Past President: 海老澤元宏理事長

• JSA-WAO Symposium 第72回学術大会中に開催(2023年10月20日)

• WAC2023に3名の講演者派遣(2023年12月13日)

2) European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI)との交流

• JSA-EAACI Symposium 第72回学術大会中に開催(2023年10月21日)

• EAACI Congress 2024におけるJSAセッション 3名講演者派遣(2024年5月31日)

3) ドイツアレルギー学会(DGAKI)との交流

• JSA-DGAKI Joint Meeting 第72回学術大会中に開催(2023年10月20日)

• DGAKIの大会におけるJSAセッション 3名講演者派遣(2023年9月15日)

4) 韓国アレルギー学会(KAAACI)との交流

• KAAACIの大会に講演者5名派遣(2024年5月10, 11日)

5) East Asia Allergy Symposium 2023 (EAAS 2023)

• 中国アレルギー学会(CSA)開催のEAAS 2023にて講演者4名発表(録画ビデオ)(2024年9月22日)

8. 普及啓発活動（定款 第5条 第8号）

学会Webサイトの一般向けコンテンツ

- ・一般向けサイトをリニューアルし、一般の方へ有益な情報提供ができるよう、疾患の説明及びQ&Aを分かりやすくまとめ、さらに、アレルギーポータルと情報の相互補完を実施した。
- ・本学会専門医の検索サイト掲載（都道府県、専門、氏名、病院名で検索）。
- ・関連機関からの一般市民向けの情報等掲載。

9. その他目的を達成するために必要な事業（定款 第5条 第9号）

- ・アレルギー情報センター事業（厚生労働省補助事業）

アレルギーポータルサイトのコンテンツをプラットフォームアップし、特に政府の花粉症対策に基づき、花粉症のコンテンツの刷新・充実を図るとともに、ユーザーが利用しやすいようデザインやサイト構成を見直し、リニューアルした。また、アレルギー相談員養成研修会を開催し、「わかりやすいアレルギーの手引き（2024年版）」を作成した。

- ・第7回働き方改革推進奨励賞

ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫は全ての学会員に有用であると考え、2016年度より「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している学会員、または所属機関を表彰・広報している。2022年度、第7回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞は、学会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、理事会において受賞者を決定した。

受賞者：脇口宏之（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）

増田佐和子（国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科）

III. 会議等

理事会・社員総会

1. 第7期 第3回常務理事会

日時：2023年10月19日（木）14:00～14:45

場所：パレスホテル東京 2F「梅」

出席：理事長、常務理事6名

2. 第7期 第5回理事会

日時：2023年10月19日（木）15:00～16:30

場所：パレスホテル東京 2F「梅」

出席：理事長、理事24名、監事1名、支部長5名

3. 第15回定時社員総会

日時：2023年10月20日（金）19:00～20:20

場所：東京国際フォーラム

出席：社員323名（委任状又は議決権行使書提出96名含）、監事2名、陪席16名

4. 第7期 臨時常務理事会

日時：2023年11月20日（月）18:30～19:00

場所：Web開催

出席：理事長、常務理事4名

5. 第7期 第6回理事会

日時：2023年12月13日（水）18:30～19:45

場所：Web開催

出席：理事長、理事21名、監事2名

6. 第7期 第4回常務理事会

日時：2024年3月15日（金）14:00～14:45

場所：パシフィコ横浜ノース 3F「G316+G317」

出席：理事長、常務理事6名、オブザーバー1名

7. 第7期 第7回理事会

日時：2024年3月15日（金）15:00～16:30

場所：パシフィコ横浜ノース 3F「G316+G317」

- 出席：理事長、理事21名、監事1名
8. 第7期 第8回理事会
日時：2024年7月24日（水）18:30～20:10
場所：Web開催
出席：理事長、理事24名、監事2名

理事会候補者会議

1. 第8期 第1回理事候補者会議
日時：2024年6月12日（水）18:00～18:15
場所：Web会議
出席：理事候補者25名、監事候補者2名、監事2名
2. 第8期 第2回理事候補者会議
日時：2024年7月3日（水）18:00～18:30
場所：Web会議
出席：理事候補者24名、監事候補者2名

各種委員会

- 和文誌「アレルギー」編集委員会（2023年11月28日、2024年5月31日 メール審議 2023年10月25日、2024年5月14日）学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。（学術大会特別演題演者からの「総説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は総合アレルギー講習会のテーマを基本に2号ずつシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供する（年8編）、「アレルギー用語解説シリーズ」（専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号3編）掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼（年1編程度）。学会Webサイトでは印刷誌発刊と合わせてJ-STAGEを利用したオンラインジャーナルを発行し、電子書籍KaLibにも掲載。メディカルオンラインにて順次、全文収載。
- 2016年10月よりオンライン電子投稿査読システム（ScholarOne）運用を開始している。
- また、アレルギー編集事務局会議（2024年2月8日）を開催（アレルギー編集委員会は上部委員会として審議事項等の承認等を行い、事務局会議は編集委員会よりも小回りが利き、柔軟な議論をする下部組織として設置）。2025年から開始となる和文誌の完全オンラインジャーナル化にともなう、掲載料金の改正など、投稿規程の改訂事項について審議を行った。
- 英文誌「Allergology International」編集委員会（2023年12月5日、2024年6月26日）
Allergology International は、中島裕史編集委員長の下、順調に刊行されている。オンラインジャーナルはエルゼビアのScience Directより発行。冊子は、希望する会員のみに配布（発行1500部）している。2023年インパクト・ファクター(IF)は6.2。小児科編集委員を募集し、2名があらたに加わった。
- * 第1回皮膚科編集委員選考ワーキンググループ（2024年7月2日） 皮膚科編集委員1名の募集の準備。
- * 第1回基礎分野編集委員選考ワーキンググループ（2024年7月10日） 基礎分野編集委員1名の募集の準備。
- 広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会（2024年6月18日）
第72回学術大会動画配信を実施。一般向けWebサイトのリニューアルを行った。
- 広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会 代表者会議（2023年9月26日、2024年1月23日）
- 総務委員会（2023年9月、2024年6月）
2022年度（2023年7月期）事業報告書案、2024年度事業計画書案の検討。
- 財務委員会（2023年9月、2024年6月）
2022年度（2023年7月期）決算書作成、2024年度予算案の検討。
- 中・長期計画委員会
JSAの現在の課題、優先的に取り組むべき中・長期的課題について検討。
- 選考推薦委員会（メール審議：2024年1月19日）
* JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム2024の募集、受賞者の選考、採択通知（2024年3月18日）を行った。
* 研究助成、外部賞の公募情報について、学会Webサイトで会員に告知した。
- 利益相反委員会
*利益相反（COI）申告管理システムの導入について検討

- * 「医学系研究の利益相反 (COI) に関する共通指針」2024年4月改訂による当学会の対応について検討
- * 利益相反 (COI) 自己申告書提出依頼 (役員、委員会委員長、特定委員会委員など)

○専門医制度関係

- * 試験問題作成委員会 (2023年10月18日、2024年1月15日、5月29日)
 - 令和6年度 (2024年度) 試験問題の作成方針・確認作業・確認分担の検討および試験結果を確認した。
 - 令和7年度 (2025年度) 以降の試験実施方法について検討した。
- * 令和6年度 (2024年度) 認定専門医試験は2024年4月28日(日)にCBT方式にて実施した。
- * 教育研修委員会 (2023年10月23日) (メール審議: 2024年5月7日)
 - 第65回および第66回専門医認定教育セミナーのプログラム案、講師候補を検討した。
 - 専門医研修カリキュラムおよび診療実績目標の改訂について検討した。
- * 資格審査委員会 (2023年12月7日)
 - 令和6年度 (2024年度) 認定専門医申請者の書類選考を行い、申請者284名全員の受験資格を認めた。
 - 専門医 (指導医) 申請・更新における有効な症例について検討した。
 - CBT試験により専門医認定時期が遅れた際の施設認定開始時期について検討した。
- * 専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修合同委員会 (2024年2月27日)
 - 専門医、指導医、教育研修施設を認定、更新認定した。(専門医の認定はなし)
 - 令和7年度 (2025年度) 専門医試験の日程および試験実施方法、新制度対応のための出題形式について検討した。
 - 専門医制度における業績単位について検討した。
- * 専門医制度委員会 (メール審議: 2023年12月7日)
 - 総合アレルギー講習会、相模原臨床アレルギーセミナーのWEB開催への変更について検討した。
- * 機構認定専門医特別委員会 (2023年9月1日、10月20日、12月8日、2024年4月8日)
 - 新専門医制度の今後の進め方について検討した。

* 関連団体

- 日本内科学会 (2023年9月19日、2024年4月25日)
 - 「内科サブスペシャルティ領域学会協議会」他
- 日本専門医機構 (2023年8月29日、12月5日、2024年3月16日)
 - 「サブスペシャルティ領域に関する会議・意見交換会」他
- 日本医師会 (2023年10月18日)
 - 機構認定専門医制度に関する面談

○国際交流委員会 (2024年1月31日、メール審議)

- * WAO, European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI)、DGAKI (ドイツアレルギー学会)などの交流事業。
- * 第72回学術大会におけるEnglish Sessionの企画、開催。
- * Kenji Mano Travel Grantの募集、運営。
- * 2024年度海外研究留学助成金の募集、選考、採択通知 (2024年7月24日) を行った。

○研究推進委員会 (2023年10月2日、メール審議: 2024年6月7日)

- * Allergology International編集委員会とともに、2024年度サノフィ優秀論文賞の募集、受賞者の選考を行い、2024年4月30日付で採択通知を発行した。
- * 2023年度臨床研究支援プログラムを公募し受賞者の選考を行い、2024年6月24日付で採択通知を発行した。

○食物アレルギー委員会 (2023年10月21日)

- 食物アレルギーに関する取り組みについて報告、活動内容を検討した。

○アレルゲン・免疫療法委員会

- アレルゲンエキス標準品の提供依頼が1件あり、提供を可として、納品した (2024年7月4日)。

○Anaphylaxis 対策委員会 (2024年4月10日)

- * 「アナフィラキシーキャンペーン」の維持・管理。
- * 「アナフィラキシーガイドライン2022」PDF版、冊子それぞれの管理。

○学術大会委員会 (Web会議: 2023年12月18日、2024年5月20日、メール審議: 6月11日)

- 会長と共に学術大会を総括的に推進し、第73回大会に向けて一般演題に関する検討・確認、各プログラム案等の内容確認の協力、第75回学術大会の運営会社選定等を行った。

○総合アレルギー講習会委員会

*第11回総合アレルギー講習会（2024年3月5日、2024年7月8日）（メール審議：2024年7月22日）

第11回総合アレルギー講習会の開催概要、ハイブリッド開催様式、講義・実習プログラム等の内容の検討、座長・講師、実習責任者の推薦者確認、エピペンの手配方法について検討。

*第10回総合アレルギー講習会（2024年2月20日）

第10回総合アレルギー講習会の実施方法、実施マニュアル、当日の運営の確認。

○学術大会賞選考委員会（メール審議：2024年5月27日）

* 第20回学術大会賞応募者の募集要項確認、選考を行い、受賞候補者5名を選出。

○下気道アレルギー委員会

喘息予防・管理ガイドライン（JGL）2024の作成に向けて、執筆者決定、編集作業を進めている。

○診療報酬・医療問題検討委員会

学会員に向けて、2026年度（令和8年度）診療報酬改定項目に関する意見聴取を実施した（2024年7月5日～2024年7月26日）。

○医療戦略検討委員会（2024年6月28日）

アレルギー領域の診療報酬の改定、国からの研究費の獲得、厚労省事業に係る「アレルギー情報センター事業費」の運用について意見交換を行った。

○働き方改革推進委員会（2024年2月5日）（メール審議：2023年12月22日、12月26日、2024年3月11日）

第8回働き方改革推進奨励賞受賞者を選考。第73回学術大会時開催の働き方改革推進委員会企画セミナーのプログラムの作成、演者の選定、Liveアンケート企画、展示ブースの企画について検討。

[特別委員会]

○アレルギー疾患対策基本法特別委員会（2024年6月21日）

アレルギー疾患対策基本法に則した施策の検討、2024年度の厚生労働省助成事業（アレルギー情報センター事業）内容の検討。

[その他委員会]

○選挙管理委員会（2023年11月15日、2024年3月11日代議員選挙、5月8日役員選挙）

2023年度代議員および役員選挙の開票を実施。当選者を確定した。

○臨床アレルギー講習会ワーキンググループ

*第7回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2024年1月30日）

第7回臨床アレルギー講習会の開催概要、運営方法、プログラム、日程、受講料、会場及び今後の運営について検討。

○ジュニア委員会設立ワーキンググループ（2024年6月11日）

ジュニア委員会の設立に向けて、目的や活動内容を検討した。

○「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き」作成ワーキンググループ

「アレルギー総合診療のための分子標的治療の手引き」（2022年9月・PDF版、11月・冊子版発行）の改訂版を2025年2月発行に向け作業を進めている。